



お達者リハビリ通信 (No.11)

作業療法士のお仕事



「作業療法士」は医療、保健、福祉、教育、就労支援などの現場で活躍しており、当施設では現在3名(老健1名、通所2名)の作業療法士が在籍しています。私たちは利用者様が身体と心が健康な状態でいられるように、運動や体操の他、手芸などの創作活動やグループ活動、認知予防のための机上活動などを通して、「その人らしい生き方」が取り戻せるようリハビリテーションを実施しています。



ところで・・・



作業療法士の「作業」ってなに??

作業とは、食べたり、入浴したり、人の日常生活に関わる全ての諸活動を「作業」と呼びます。 出典：日本作業療法士協会



例えば・・・

食事をする、トイレに行く、着替えをする、顔を洗う、お風呂に入る、料理をする、洗濯をする、掃除をする、畑に出る、趣味活動をする、就労する、地域活動をする・・・など
日常の中で何気なく行っているすべてのことです。



※よく聞かれる声：一人でトイレに行きたい、自宅でお風呂に入りたい、畑に出たい、近所の友人の所へ遊びに行きたい、買い物に行きたい、などがあります。

お達者倶楽部の作業療法士



星野 麻美

佐藤 絵理香

大久保 有香

目標達成に向けて、
お手伝いさせていただきます!



実際に行ってきた作業療法の取り組み

趣味活動再開に向けて

「バラの剪定がしたい！」



環境を確認！
リハビリに励み・・・



実践！
綺麗な薔薇が咲きました！

認知予防・手指訓練のための創作活動、自助具の提案



花瓶置きを製作中！



握りやすいように、
持ち手を太くしています

その他にも、食事に使う食器
の提案も行っています

道具を工夫することで、取り組める活動が増えます！

自主トレーニングのための上肢・手指訓練、脳トレプリントの提供



一人一人自ら課題を選択して行っています！

創作活動(グループ活動)



他者との交流を通じて、役割やコミュニケーションが生まれます

一人一人が持っている力を合わせると、立派な作品が出来上がります！

新・職員紹介！！



言語聴覚士 平田 朱音

ひらた あかね

今年の九月一日に入職した言語聴覚士の平田朱音です。

食事を摂ることが難しい方や言葉が出にくい方へのサポートを行っています。主に老健お達者倶楽部の利用者様とリハビリを行うことが多いですが、通所も兼任となっているので通所の利用者様ともリハビリをさせて頂く機会があります。以前は病院で勤務していた為、個別のリハビリ以外の形で利用者様と関わる機会があまりありませんでしたが、ここでは集団訓練や季節ごとのイベントも毎月あるので楽しみにしています。

入職して3か月になり、徐々に慣れてきましたがまだまだ分からない部分もあり、ご迷惑をお掛けすることもあるとは思いますが、よろしくお願ひします。



言語訓練中

施設内研修

安全対策研修

～KYT(危険予知トレーニング)活動～

2019年9月13日(金)14:30-15:00

当施設では、定期的に様々なテーマに基づき研修会を行っています。

今回は、「安全対策研修～KYT(危険予知トレーニング)活動～」というテーマで行いました。

KYTとは、職場(小集団)で行う「短時間危険予知訓練」のことです。事故を事前に防ぐために「ひやり・はっと」する能力を高め、ご利用者様の安全の先取りができることを目標に研修会を開催しました。

例題として、移乗介助場面での「危険要因と想定される事故」を洗い出し、「対応策」を抽出。さらに「グループ行動目標」を設定しました。各グループからは様々な視点からの意見があがり、その様々な意見を共有して日々の業務を見つめ直す良い機会となりました。今後も定期的な研修を通して技術向上に努めて参ります。

<例題>

KYTを解説



車椅子のブレーキがかかっていないね！

あ動線に椅子が

①どんな危険があるか？
(現状把握)

ブレーキがかかっていないのが一番危ないね

②ここが危険のポイントだ！
(本質追求)

私は介助前にブレーキの確認をするわ！

足置きの確認も必要だよ！

③あなたならどうする？
(対策樹立)

ブレーキ、足置きを確認して安全に利用者様を介助する

④私達はこうする！
(目標設定)

海外研修に参加しました!!



2019年10月7日から1週間、オーストラリアで医療・福祉について学んできました。オーストラリアは福祉先進国とされています。当施設においても有用な情報がたくさんありましたので、一部を紹介します。



理学療法士
若菜 善樹

研修内容

【講義】

・オーストラリアの医療・福祉制度
【視察施設】

- ・ Souseikai International
日本人向けの訪問介護サービス
- ・ Dementia Australia
認知症患者とその家族の支援団体
- ・ Holy Spirit Croydon
老年精神疾患と
認知症患者用の入居施設
- ・ Epping Manor
サービス付き高齢者住宅
- ・ Assistive Technology Australia
ホームケア製品の情報・教育機関
- ・ 3 Bridges Summer Hill MCSP
認知症デイサービス

認知症の方のための環境や感覚情報の使い方



認知症の方が自由に出入できる庭。適度に視界を遮る生垣により、認知症の方が敷地外の刺激（物）に気を取られ出て行ってしまふのを予防しています。庭には様々な感覚刺激（五感）の工夫が施されており、看板で分かりやすく表示されています。感覚刺激は認知症が進行しても残る機能であるため、重度な認知症の方も感じ取ることができます。

Dementia Australia 認知症患者と家族のための支援団体



認知症に対する国の取り組みの講義と介護者向けの教育システム「EDIE（エディ）」を体験しました。特殊なゴーグルによりVR（仮想現実）を通して、認知症の方の目を通じた世界を体験できます。実際には「夜、尿意を催し、やっとの思いでトイレを探し用を足すと、そこは洗濯籠でした。」というものでした。

Assistive Technology Australia 福祉用具製品の情報・教育の公共機関



政府の財源をもとにした、公共機関です。2000点もの福祉用具の展示とリハビリスタッフによる製品紹介を行っています。Web上では10,000点もの製品を見ることもできます。展示されているほとんどの製品は日本でも使われているものです。Webで閲覧できます。

3 Bridges Summer Hill MCSP 認知症デイサービス



軽度認知症の方が対象のデイサービスです。様々なアクティビティにより、孤独感を和らげ、症状の進行を遅らせる事で、地域で充実した生活が送れるように支援している団体です。ここでは、利用者の方々と一緒にいろいろなアクティビティを体験してきました。